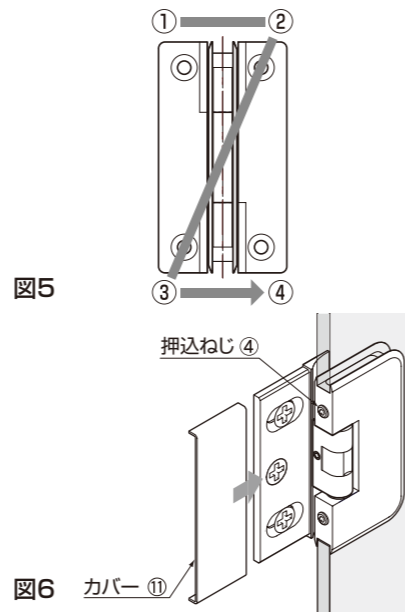


5. ガラスドアを枠に取り付けてください。
 (1) ガラスドアの下に、床との隙間に見合ったかいものをあててください。
 (2) ねじで③で丁番を壁に固定してください。
 ねじは最初からきつく締め込まず、それぞれを交互に少しずつ均等に締めてください(図5)。
 (3) かいものを外してください。
6. 押込ねじ④を増し締めしてください。
 ガラスドアを吊ったことにより、シュー③が変形してゆるむことがあります。全部の押込ねじ④をもう一度締めなおしてください。
7. ガラスドアをゆっくりと開け閉めし、スムーズに動くことを確認してください。丁番の芯がずれていると音がすることがあります。
8. DG-CS2MHはカバー①を付けてください(図6)。



Ⅲ. ゼロポジションを決めます。(DG-CS2MH 共通)

※ 自由開きドアの場合、取付後(調整前)にガラスドアと取り付け枠の縁との角度のずれが室内側、室外側とも約5度以内のずれであれば、丁番で調整できます。これ以上のずれはこの丁番では調整できません。丁番と壁との取付角度を調整してください(図7)。

1. ドアを静かに閉めてください。

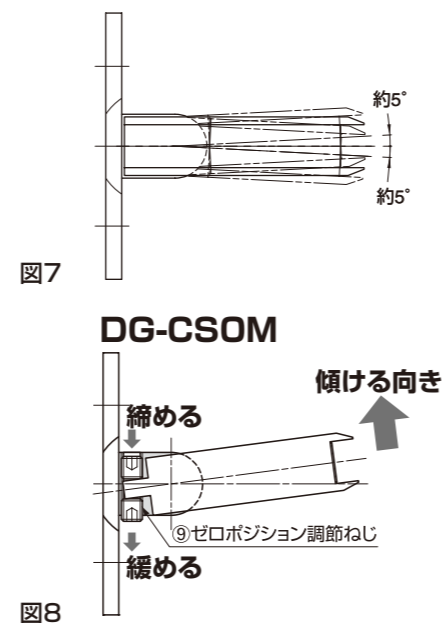
2. ゼロポジションの角度を調整してください。(図8)

図8の上側にドアを傾ける時は、次のようにしてください。

- (1) 傾ける反対側のねじのゼロポジション調整ねじ⑨を半回転緩めてください。
- (2) 傾ける方のゼロポジション調整ねじ⑨を締めてください。
- (3) 傾きが決まるまで、(1)および(2)をくり返してください。
- (4) 調整後、必ず傾ける反対側のねじを締めてください。

△注意

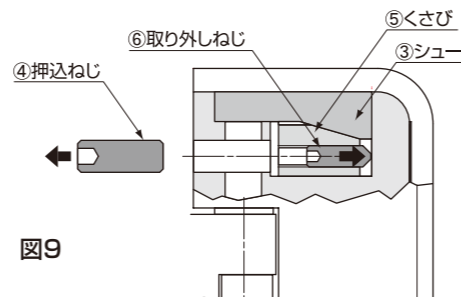
ゼロポジション調節ねじ⑨は、強く締めすぎないようにしてください。締め過ぎると、ねじ山が壊れて調整ができなくなる恐れがあります。



Ⅳ. ガラスドアから丁番を外す時(DG-CSOM, DG-CS2MH 共通)

ガラスドアを外してください。(図9)

- (1) 押込ねじ④を六角棒スパナ呼び3⑭で緩めて外してください。
- (2) さらに同じ穴に六角棒スパナ呼び2⑮で、くさび⑥に勘合している取り外しねじ⑥を締めて(右回し)ください。
 [1] これにくさび⑥とシュー③が離れ、シュー③が外れる状態になります。
 ※ 取り外しねじ⑥を緩める(左回し)と外れません。
- (3) シュー③が長時間の圧縮により、外れないことがあります。
 この時は、シュー③が外れない側の丁番取付部を頭の柔らかなハンマでたたかなどして、静かに外してください。
 ※ ガラスドアを割らないよう、ご注意ください。



ガラスドア用自由丁番 DG-CSシリーズ DG-CSOM、DG-CS2MH取扱説明書

このたびはガラスドア用自由丁番 DG-CS シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 この製品はシャワーブースの入口に設置するガラスドア用の丁番です。住宅やホテルの室内にもお使いいただけるよう設計していますが、その他の目的には使わないでください。
 取り付けの際は、この取付説明書をよくお読みになってから、作業を始めてください。



DG-CSOM



DG-CS2MH

必ずお守りください。安全のため、必ずお読みのうえ、お守りください。

下の表示は、製品を正しく安全にお使いいただき、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐ目印として、マークによる注意事項を示したものです。

△警告

この表示を無視、あるいは注意事項を守らないで使用した場合、故障の原因や事故により、けがをしたり組み立てられないことがあります。

△注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 本書について

本取付説明書は、一ヶ所のシャワーブースに DG-CS シリーズを取り付けることを想定したうえで、最も安全かつ効率的に取り付けできると思われる方法を記載しました。必ずしも取り付けの順序や方法を規制するものではありません。取付作業を行われる方におかれましては、専門家としてのノウハウをお持ちのことと考えておりますので、この取付説明書に記載された方法にとらわれず、専門知識と経験に基づいて取り付けを行なってください。その場合においても、事前にこの取付説明書に一度は目を通してくださるようお願いいたします。

■ 免責について

現場の状況や取付作業の結果としての品質は、弊社の影響の及ばない多くの要素から成り立っています。したがって弊社ではこれらが原因となって発生した副次的な損失や損害、または出費についての責を負うことができませんのでご容赦ください。ご理解のうえ、ご了承いただくようお願いいたします。

■ 説明図の寸法について

この取付説明書に記載した寸法は、加工や組み立てによる誤差、材料そのものの変形などを考慮していません。このことをご考慮のうえ、作業を行ってください。

■ 戸当りの設置についてのお願い

DG-CS シリーズ(以下、このシリーズに共通するときは、総称として「丁番」と記します。)の開き角度は「1-2 製品仕様」の情報をご参照ください。開き角度は、丁番が単独で開く限界の角度です。ガラスドアを勢いよく開いた時、ドアは慣性力でさらに大きな角度に開こうとします。この力が原因で、ガラスドアが建築物にぶつかって傷を付けたり、丁番や丁番を取り付けているねじを引き抜いたり、またはガラスドア自身も傷が付きドアが破損したり脱落したりすることがあります。

ガラスドアが丁番の限界開き角度の手前で、それ以上開かないように戸当りを設けることにより、上記のような力の発生を防げます。この結果、心配される事故が発生する機会を著しく軽減できます。このような観点から、丁番の限界開き角度の手前に、戸当たりを設けていただくようお願いいたします。

■ 作業についてのお願い

丁番はその構造上、取付位置の間隔はガラスドアの加工に依存することが多い製品です。そのため、DG-CSOM、DG-CS2MHにおいては、丁番を先にガラスドアへ取り付けしてから建築側に取り付けてください。建築側へ先に取り付けてからガラスドアを組み込むと、それぞれの誤差により丁番がガラスドアに組み込めないことがあります。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせいたします。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03(3864)1122**

受付時間 月～金 **9:00～17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03(3863)6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
http://www.sugatsune.co.jp/

2012.08 PRINTED IN JAPAN 0322-3

SUGATSUNE

I. このシリーズについて

1. このシリーズの特長

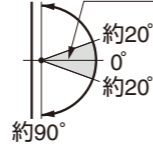
本丁番は、ガラスドアをくさびで押さえる構造になっています。ガラスドアを挟むカバーには強度は要求されないため、カバーを薄くできます。これにより、取り付け後のドアは全体にシャープな印象となります。

2. 製品仕様

使えるガラスドアの範囲

質量	35kgまで
扉幅	800mm
ガラス厚	8mm

開き角度(3種共通) 約90° 自動閉止範囲



3. 作業に必要な工具：鋼製巻尺、かいもの、下げ振り、ねじ回し、頭部のやわらかい材料でできたハンマ

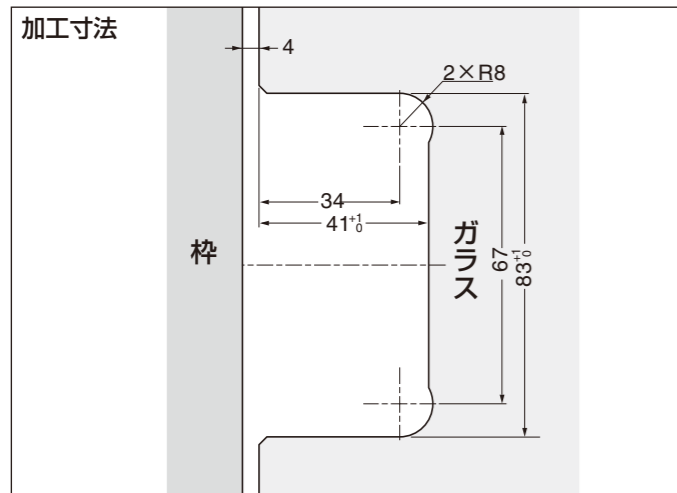
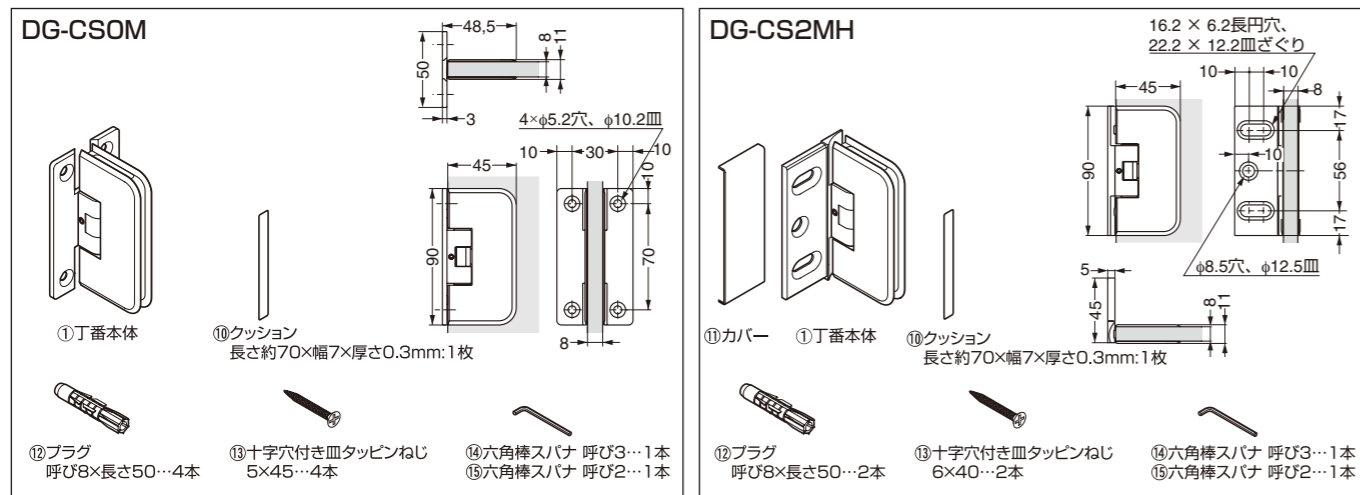
4. 作業前に確認いただくこと

1. 内容物と数量の確認

製品が届いたらすぐに梱包を解き、内容物の数と状態の確認を行ってください。不足や不備がある場合、使用せず直ちに販売店様または弊社までご連絡ください。

2. 構成部品の名称および数量並びに部品の寸法、およびガラスドア加工寸法

(○番号の飛んでいるものは本文中で説明します。十字穴付きタッピンねじ⑬は本文では「ねじ⑬」と記載します。詳細は図2(2ページ)をご覧ください。)

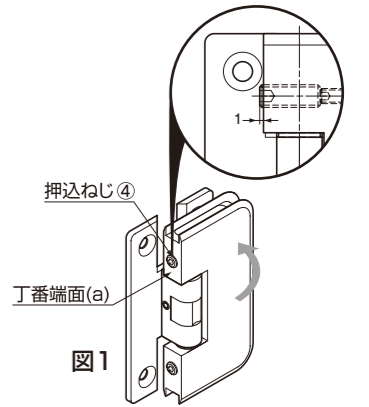


II DG-CSOM / DG-CS2MH 取付手順

丁番各部の名称(添字がアルファベットのもの) 図1 および図2 によってください。

1. 丁番をガラスドアに取り付けます。

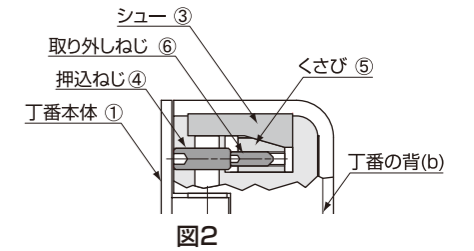
1. ガラスドアを水平で安定した台の上に置いてください。
2. 丁番を図1のように曲げてください(扉を開いた状態)。
3. 押込ねじ④の頭が、図1の丁番端面(a)から1mm以上飛び出していることを確認してください。



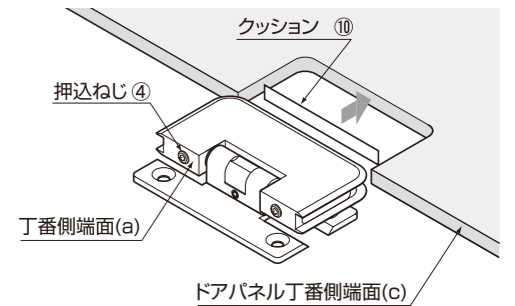
△注意

押込ねじ④の頭が丁番端面(a)から沈んでいる時は、押込ねじ④を外して、シュー③やくさび⑥が脱落していないか確認してください(図2)。

外す時は、「IV ガラスドアから丁番を外す時」をご覧ください。



4. 丁番をガラスドアの加工部に組み込んでください(図3)。
 - (1) クッション⑩を丁番の背(b)に挟んで丁番を加工部に組み込んでください。
 - (2) 図3の丁番端面(a)とガラスドアの丁番側の端面(c)の面を合わせ、上下の押込ねじ④を交互に少しずつ均等な力で締めてください。(締付トルク $2.5N \cdot m$)
 - (3) 上下の丁番の取付穴の間隔を記録してください。



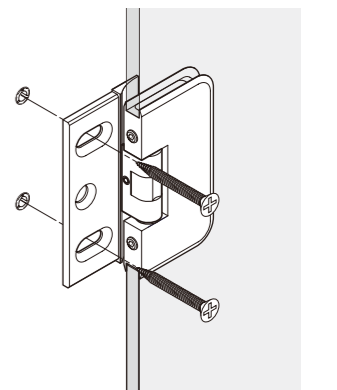
2. ガラスドアを枠に取り付けます。

1. 枠にガラスドアの取付中心線を野書いてください。
2. ガラスドアの取付中心線上の適当な位置に、測定した間隔で取付穴位置を野書いてください。

△注意

ねじの太さと取付穴径の差によって、ガラスドアが下がる場合があります。このことを考慮のうえ、位置を決めてください。

3. 取付穴位置に、プラグ⑫またはねじ⑬に合った下穴を開けてください。プラグ⑫には、径8mm、深さ55mmの穴を開けてください。
 - (1) DG-CSOMでは、2ヶ所の丸穴の中心に下穴を開けてください。
 - (2) DG-CS2MHでは、2ヶ所の長丸穴の中心に下穴を開けてください。上下に長穴が2個、中央に丸穴が1個開いています(図4)。
- [1] 長丸穴はガラスドアを支え、左右のずれを吸収するための穴です。
 [2] 丸穴は位置を固定するための穴です。
 [3] 位置決めが終わってから穴を開ける時は、ガラスが破損しないよう十分ご注意ください。



4. プラグ⑫を埋め込んでください。